

令和7年度当初予算案について

青森新時代の挑戦

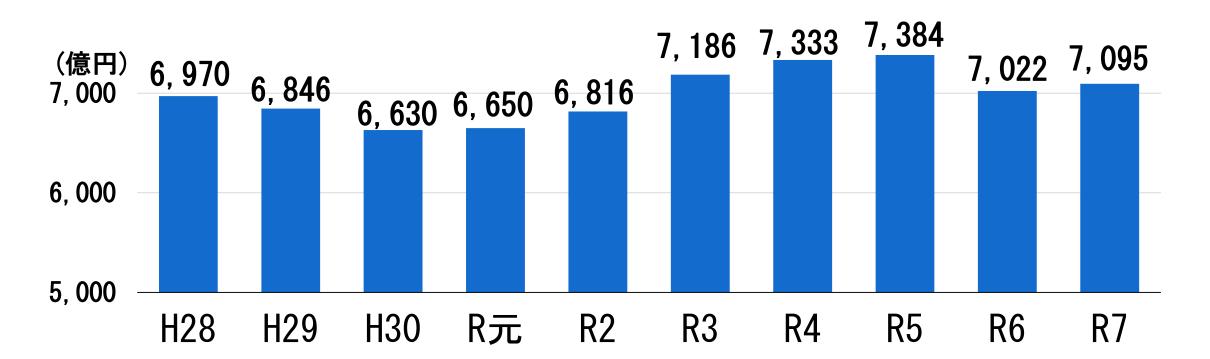
1 予算計上額

一般会計当初予算

7,095億円

- R6当初予算比 +73億円、+1.0%
- 一体編成した令和6年度2月補正予算(国補正)379億円余(対前年度比 +319億円余、+528.7%)
- ⇒ 既存事業の廃止・見直し(200件、54億円余)を行った上で積極的な事業構築加えて、施設整備費等が増となった結果、前年度を上回る規模

当初予算額の推移



2 基本的な考え方

- ■県民対話集会「#あおばな」などにおける県民の皆様からの声に応えるとともに、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」をはじめこれまで示してきた様々なビジョンの実現に向けて、県民目線で各種課題のブレイクスルーに挑戦する
- ■GX青森の推進による新たな産業の創出、未来への投資としてのこども・子育て「青森モデル」や学校教育改革の推進、オンライン診療の普及・拡大、「地域モビリティ2.0」の推進、高齢者・障がい者が安心して暮らせる共生社会づくり、りんごイノベーションセンターの整備など、県民の皆様が全国に誇れるような新機軸の施策を展開していく
- ■各種財源の確保や有効活用などにより、当初予算において財政調整用基金の取崩額をゼロとする収支均衡を継続するとともに、県債残高についても着実に縮減する

3 令和7年度歳入予算の概要

(単位:億円、%)

項	目	R 6	R 7	増減	増減率
県税		1, 495	1, 560	65	4.3
地方消費稅清算金		686	715	29	4. 2
地方譲与税		254	278	24	9.6
地方特例交付金		27	7	△ 20	△ 75.9
地方交付税		2, 132	2, 121	Δ 11	\triangle 0.5
うち普通交	き付税	2, 098	2, 087	Δ 11	\triangle 0.5
うち特別交付税		34	34	0	0.0
国庫支出金		1, 058	1, 092	34	3. 2
繰入金		162	183	21	13.4
諸収入		586	479	△ 107	Δ 18.2
県債		504	528	24	4. 7
うち臨時則	才政対策債	10	0	△ 10	皆減
その他		118	132	14	12. 2
合	計	7, 022	7, 095	73	1.0
(うち一般財	源)	4, 665	4, 738	73	1.6
普通交付税	+ 臨財債	2, 108	2, 087	Δ 21	Δ 1.0

- 〇一般財源総額は前年度を上回る額 を確保
- 〇県税は個人県民税における定額減税 の終了や核燃料物質等取扱税の 平年度化などにより増
- 〇地方消費税清算金及び地方譲与税は 全国総額の伸びなどにより増
- 〇地方交付税及び臨時財政対策債は 県税等の伸びを前提として減
- 〇諸収入は新型コロナ関連の特別保証 融資制度貸付金の減額により減
- 〇県債は臨時財政対策債が減となった ものの、施設整備費の増額により増

4 令和7年度歳出予算の概要

(単位:億円、%)

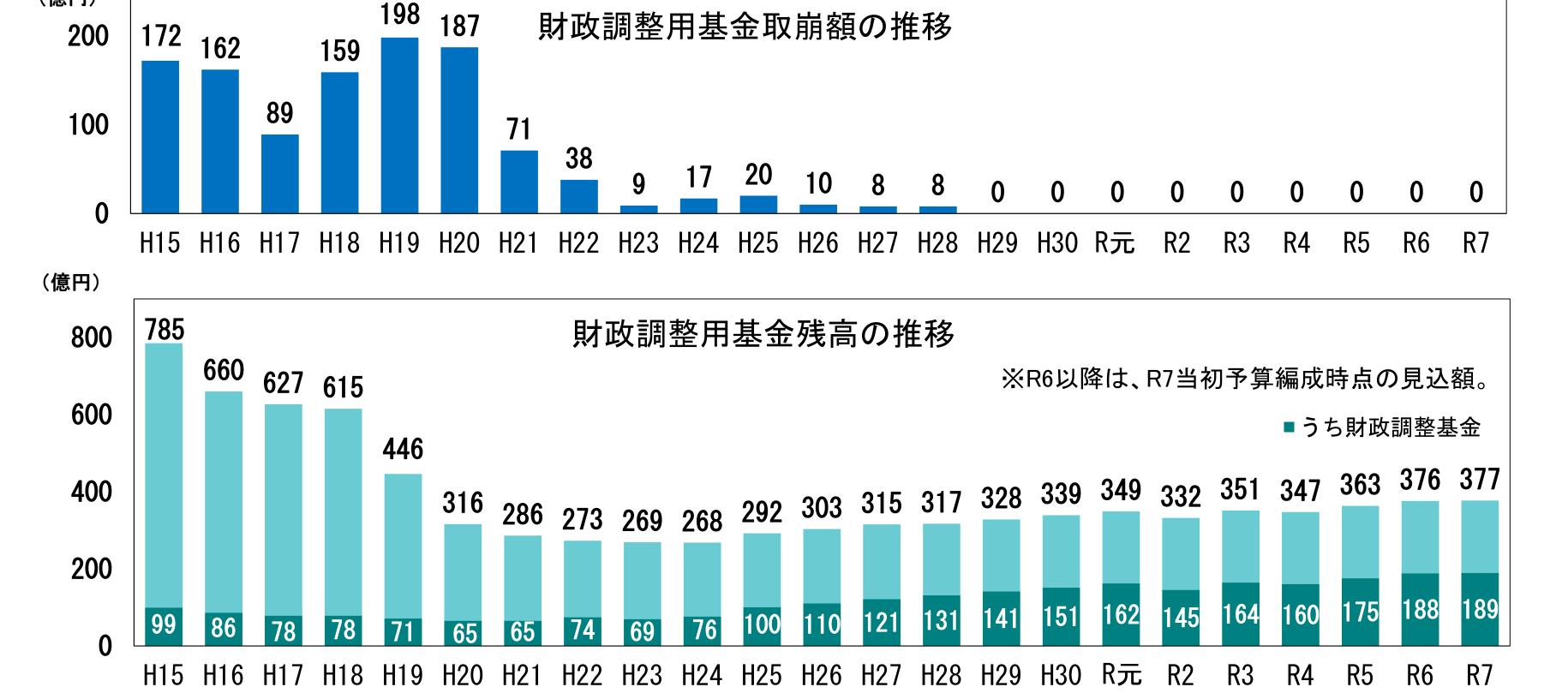
項目	R 6	R 7	増減	増減率
義務的経費	2, 721	2, 656	\triangle 65	△ 2.4
人件費	1, 581	1, 563	Δ 18	Δ 1.1
扶助費	193	203	10	4.9
公債費	947	890	△ 57	\triangle 6.1
投資的経費	1, 301	1, 345	44	3. 4
普通建設事業費	1, 239	1, 295	56	4. 5
災害復旧事業費	62	50	△ 12	△ 18.9
その他	3,000	3, 094	94	3. 2
物件費	351	366	15	4. 3
補助費等	1, 924	2,060	136	7. 1
積立金	89	128	39	44.0
貸付金	498	396	△ 102	△ 20.6
繰出金	86	93	7	8.9
維持補修費等	52	51	Δ 1	△ 2.0
合 計	7, 022	7, 095	73	1.0

- 〇人件費は給与改定の影響による増の 一方で、定年延長に伴う退職手当の 減により全体で減
- 〇公債費は償還が進んだことにより減
- 〇普通建設事業費は庁舎、学校施設など 県有施設の老朽化対策が増
- 〇補助費等は社会保障関係の給付、 県税市町村交付金などが増
- 〇積立金は定年退職者等退職手当基金 積立金が増
- 〇貸付金は新型コロナ関連の特別保証 融資制度貸付金が減

5 財政調整用基金の状況

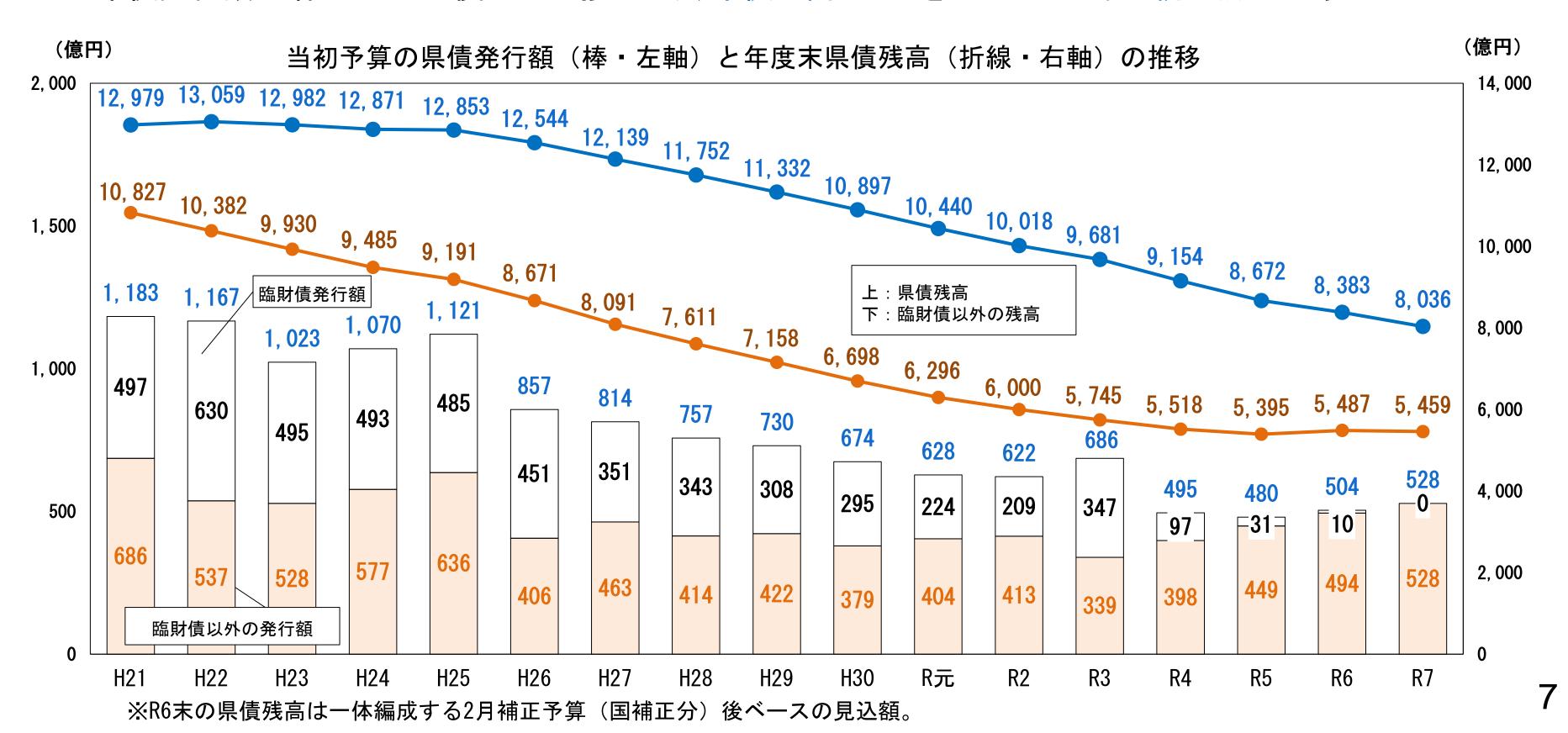
(億円)

〇当初予算における財政調整用基金の取崩額は9年連続でゼロとなり、収支均衡を継続



6 県債発行額と県債残高の状況

〇県債発行額は増となったが償還の進捗により、県債残高はH22をピークに15年連続で減となる見込み



新たな時代を拓く7つの政策分野

(基本計画の7つの柱)

















挑戦1 しごとづくり と若者の定着



G X 青森の推進による新たなしごとづくり 3億1,900万円

1 GX関連産業集積に向けた誘致活動の推進

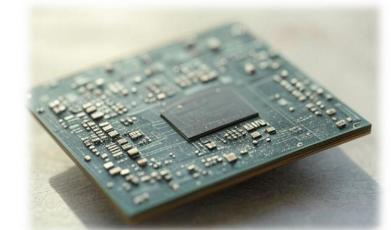
地域特性に応じた、洋上風力や半導体産業を はじめとする成長分野の企業誘致促進や、台湾での 誘致プロモーションの実施

2 県内企業の参入促進・技術開発支援

県内中小企業のGX関連産業への参入促進に向けた、 新技術開発等への支援

- OGX関連産業の集積により、新たな産業・雇用の創出や人材 の県内定着が図られる
- OGXに資する新製品・新技術開発の支援により、 県内中小企業のGX関連産業への参入が増加する







若者の県内定着の促進

1億1,100万円

- 1 仕事と生活の魅力の情報発信
- 〇社会人モデルの情報発信 青森県で輝く若者たちを取り上げ、充実した仕事や 生活を紹介
- 〇県内企業の情報発信 学生が選ぶ「働きたい企業」の魅力を学生目線で紹介、 企業説明会やインターンシップの開催
- 2産学官連携による県内就職促進
- 〇工業分野(弘前大学、八戸工業大学、県工業会等) 学生向け経営者の講話、企業向け採用力向上セミナー
- ○医療福祉分野(保健大学、医療・福祉施設等) 関係機関による検討会、就職コーディネーターの配置
- 〇県内企業の潜在力を見える化







力強い農林水産業の推進による魅力あるしごとづくり 9億3,700万円

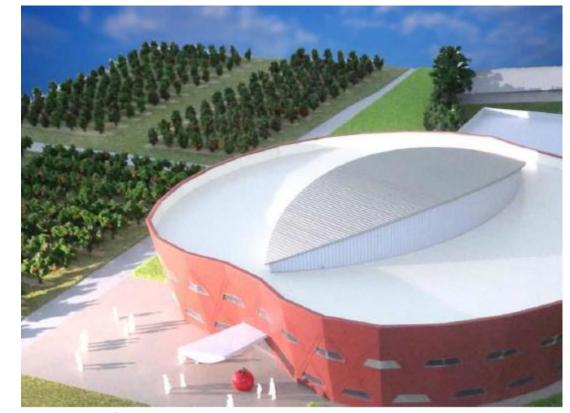
1 所得向上に向けた生産者の経営改善

- ○経営分析・改善等の指導体制の強化、所得向上プログラム の伴走支援
- 〇雌子牛ゲノミック解析支援、評価結果公表に向けた体制構築
- 〇ホタテガイの採苗不振や高水温に対応した生産技術の開発

2 産業を守るための企業等との連携

- 〇企業の農業参入に向けたニーズの把握、受入態勢の整備
- 〇試験研究の高度化等に対応する「りんごイノベーション センター(仮称)」の整備
- 〇津軽・県南地域におけるもみ殻のマッチング体制の構築
- 〇県産材利用促進に向けた制度の創設と製材事業者等の 生産性向上への支援
- 〇生産者の技術力、収益力の向上
- 〇本県農林水産業が持続的に発展していく体制の構築





りんごイノベーションセンター外観(基本設計)



127事業 630.6億円

~しごとづくりと若者定着に挑戦~

(主な事業)

若者を惹きつけるしごとづくり

◎GX青森の推進による産業創出・誘致 3億1,900万円

〇工業団地等の企業誘致の強化

8億5,100万円

〇若者・女性のチャレンジングな創業・起業支援

3,200万円

◎産学官の連携による学生ニーズを踏まえた 企業PRや企業の採用力向上

1億1, 100万円

地域経済の成長を支える県内産業の競争力強化

〇県民の所得向上ラウンドテーブルの開催 と事業者向け外国人受入相談窓口の設置

5,000万円

〇特別保証融資制度による生産性向上、 賃上げ、仕事と子育ての両立の支援

377億2,600万円

〇価格転嫁支援アドバイザーの派遣と実践塾の 開催、21財団を通じた販売力・収益力強化支援

1億5, 200万円

5,100万円

〇アグリ関連産業のサプライチェーン構築に 向けた事業再構築支援・共同研究・ブランディング

豊かさを実感できる力強い農林水産業の実現

◎農業者の所得向上プログラムの実践と 成果連動型のハード・ソフト支援

1億6,800万円

◎ゲノミックによる高評価雌子牛の市場取引 及び定着推進

2,400万円

◎企業の農業参入に向けたアプローチ

1,800万円

◎もみ殻の畜産利用による耕畜連携体制整備

1,300万円

◎県産材使用推進事業者登録制度の創設 と製材事業者等の経営基盤の強化

1億2,600万円

◎ ホタテガイ生産の高度化・効率化、事業継承 の円滑化、ブイロボの整備及びベビーボイル ホタテの欧州等への輸出促進

5億6,000万円

◎ りんごイノベーションセンター(仮称)の整備

2,800万円

産業を支えるDXの実現

ODX総合窓口の運営と事業者支援

5,800万円

〇農業DXの技術実証とデジタル人材の確保・

1,300万円

育成、データを活用した普及指導



批准2

医療環境の向上と共生社会の実現



I C Tを活用した医療環境の向上

2億3,100万円

15

1 オンライン診療の推進

導入に必要な機材等の整備を強力に支援

- 補助率を引上げ 1/2→10/10 (2年限定)
- 2 救急現場の迅速な情報共有を支援

医療情報共有アプリの整備を支援

- 補助率を引上げ 1/2→3/4 (2年限定)
- 3 へき地オンライン診療環境の構築

県内のへき地診療所で導入モデルを構築

周辺機器を含めた導入経費を全額補助



- 〇 悪天候時や遠距離の場合にも、自宅や最寄りの施設等で一部の診察や処方が可能に
- O 救急隊からの画像共有などにより、医師の指示による応急処置や搬送後の迅速な対応が可能に
- 〇 へき地診療所において拠点病院からのオンラインでの医療支援体制を強化



高齢者が安心して暮らせる共生社会づくり 5億3,300万円

1 介護テクノロジーの推進

介護ロボットやICTの導入を強力に支援

- 補助率の引上げ 2/3→4/5
- ・補助対象事業者数の拡大 76→148
- 2 ノーリフティングケアの普及

地区・事業所単位での研修の実施、推進リーダーの養成

- 3 つどいの場の活性化
 - つどいの場へのゲーム機の貸出
 - ・県全体でのゲーム機を使用したシニアスポーツ 大会の実施
- 〇 介護現場における生産性が向上される
- 〇 介護職員と利用者双方の安全・安心につながる
- 〇 高齢者の健康づくりや社会参加が促進される





(主な事業)

~医療環境の向上と共生社会の実現に挑戦~

高齢者や障がい者が安心して暮らす共生社会の実現

◎テクノロジー導入などによる介護現場の 生産性向上支援

4億9,100万円

1,400万円

◎介護におけるノーリフティングケアの推進◎ゲーム機を使用したシニアスポーツ大会の実施

2,800万円

200- III

◎ 障がいのある人もない人も共に暮らしやすい 社会づくりを目指した条例制定に向けた調査検討

200万円

◎ねむのき会館の体育館等の改築

3億1,100万円

がんの克服をめざす体制づくり

〇職場健診と市町村大腸がん検診をセットで受診

500万円

できる体制の構築

〇市町村と連携したがん初回精密検査への支援

3,200万円

持続可能な地域医療サービスの整備

◎ⅠCTを活用した遠隔医療の推進

2億3.100万円

〇医療福祉分野の人財育成・県内定着に

900万円

向けた産学官の連携

〇弘前大学における医師のキャリア形成

1,600万円

プログラム策定・実施体制の強化

〇病院薬剤師確保に向けた奨学金の返還支援

2,300万円

県民一人ひとりの健康づくりの推進

〇高血圧症未治療者の受療動機付けキャンペーン等 の実施及び適時適切な治療の促進

1,400万円

〇他地域の県産食材を給食にプラスする食育活動と

夏 - 冬休みにおけるこども食堂等での共食支援

2,200万円



挑戦3 青森モデルの実現 と教育改革



こども・子育て「青森モデル」の推進

(小児科受診環境の改善・不妊治療の負担軽減)

3億4,800万円

1 小児科オンライン診療

〇平日 18:00~翌朝8:00

〇土曜日 13:00~翌朝8:00

〇日、祝日 8:00~翌朝8:00

2 不妊治療費自己負担額助成

- 〇公的医療保険適用の一般不妊治療(拡充)
- 〇公的医療保険適用の生殖補助医療
- 〇こどもが休日·夜間に体調を崩した際に診療を 受けられる体制を整備
- 〇都道府県では初となる一般不妊治療及び生殖補助 医療の全額助成を実現







こども・子育て「青森モデル」の推進

(保育士・保育所支援、子育て環境の充実)

9億7,700万円

1保育士の処遇改善

- 〇賃金引き上げ、保育補助者の配置支援
- 2 保育士の確保・資質向上
 - 〇離職防止のための相談窓口の新規設置
 - 〇人材バンクの運営や各種研修の実施
- 3 保育所の設備整備支援
 - 〇熱中症・安全対策や遊具・運動具等の整備支援
- 4 キッズ・病児シッターの利用支援
 - 〇基本利用料:県内平均1,687円 → 原則400円
 - 〇オプション(休日·夜間·病児):原則無償化
 - 〇保育士の就労環境改善・保育の質の向上







こども・子育て「青森モデル」の推進

こども

(主な事業)

若者や女性の定着・還流

〇二一ズにあった仕事や暮らしやすさの 情報発信、移住支援金や奨学金返還支援 によるUIJターンの促進(一部再掲)

2億2,500万円

家庭と仕事の両立

〇女性活躍に向けた県内企業の意識改革の 推進や休業・復帰等しやすい環境の構築

800万円

〇他地域の県産食材を給食にプラスする食育 活動と夏・冬休みにおけるこども食堂等 での共食支援 (再掲)

2,200万円

出会い・結婚

〇あおもり出会いサポートセンターや民間 結婚支援事業との連携によるマッチング支援

3,700万円

〇結婚新生活に対する経済的支援

5,800万円

妊娠・出産

◎不妊治療費の助成範囲を拡大し、都道府県と しては初となる生殖補助医療及び一般不妊治療 の全額助成

3億2,600万円

○遠方の医療機関における妊産婦健診や分娩時 の交通・宿泊費支援

900万円

子育て環境

〇学校給食費をはじめとした市町村の子育て 費用の無償化支援制度の弾力化

38億円

(このほかR7に係る物価高騰緊急対策分

3億8,900万円)

◎キッズ・病児シッターの利用支援

2,200万円

◎夜間・休日における小児科のオンライン診療 利用環境の整備

2,200万円

〇子育てに優しい歩道、道路・河川等休憩施設 におけるおむつ交換台の設置等の環境整備

1億8,700万円

〇県立文化施設(三沢航空科学館、白神ビジターセンター、 浅虫水族館、三内丸山遺跡センター)における高校生以下 の入館料無償化



学校教育改革の推進

(教育 D X)

7億4,600万円

1 教育ダッシュボードの整備(高等学校)

学校での成績や出欠状況などの教育データを一元的に 集約し、見える化するためのシステムを整備

2 遠隔教育システムの導入(高等学校)

配信スタジオと学校の受配信機器を整備し、遠隔補習や 遠隔授業を試行的に実施

- 〇児童生徒や保護者にとって学習の進捗や理解度などが 把握しやすくなり、学習意欲や家庭における関心が向上
- 〇小規模校においても大学進学に向けた高度な授業などを 実施できるようになり、生徒の多様なニーズに対応







学校教育改革の推進

(主な事業)

Ⅰ 学校の働き方改革

〇スクールサポートスタッフの小中学校 における配置時間の拡充、全県立高等 学校への配置

6億7,700万円

〇公立小·中学校等の働き方改革に向けた 校務支援システムの導入などの環境整備

2億3,100万円

◎県立学校のWEB出願システムの導入

1億1,200万円

Ⅱ 学びの環境のアップデート

〇地域の人材との連携や地域資源を活用 した主体的な探究学習や体験活動の実施

5,100万円

〇市町村における校内教育支援センター 設置のスタートアップ支援及び不登校 児童生徒支援の研修

3,300万円

Ⅲ 学校の経営力強化

〇県立学校における学校運営協議会の設置 推進、地域と学校の協働活動の活性化

1,300万円

更なる教育改革の推進に向けた基盤の強化

◎学習・校務等データを集約化し、達成状況の自己確認や生徒一人ひとりに応じた指導につなげる教育ダッシュボードの基盤整備

◎県立学校における通信環境の改善

◎県立学校におけるデジタル教材の活用や 自動採点システム導入など教育 D X の推進

◎県立高校における遠隔教育システムを活用 した補習・授業の実施

〇外部コンサルタントによる学校の働き方 改革推進のための支援 1億8,800万円

2億8,900万円

1億2,400万円

3,300万円

2,300万円

23



こ ど も 104事業 356.4億円

~青森モデルの実現と教育改革に挑戦~

(主な事業)



こども・子育て「青森モデル」の推進

- 若者や女性の定着・還流
- 家庭と仕事の両立
- 出会い・結婚
- 妊娠・出産
- 子育て環境

保育士・保育所支援の充実

◎保育士の処遇改善(賃金引上げや保育補助者 の配置支援)

8億6,800万円

- ◎保育士の確保・資質向上(保育士人材バンク の運営や保育士の相談窓口の新規設置)
- 3,800万円
- ◎保育所の設備整備支援(熱中症・安全対策や 遊具・運動具等の整備支援)

4,900万円

学校教育改革の推進

- 学校の働き方改革
- 学びの環境アップデート
- 学校の経営力強化

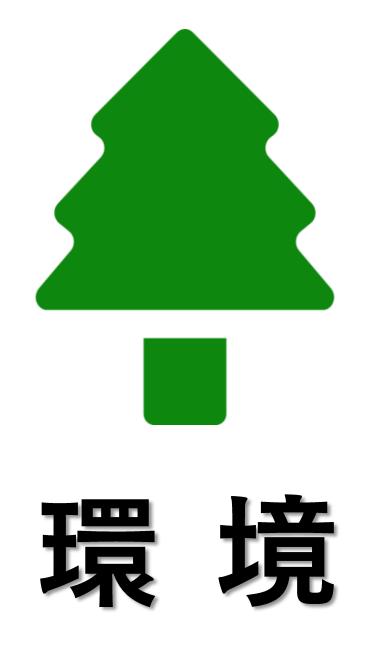
更なる教育改革の推進に向けた基盤の強化

こども・若者に届く包括的な支援の充実・強化

- 〇こどもの居場所の新規設置や機能拡充を 行う際の備品等購入に対する定額支援
- 2,000万円
- 〇小児在宅(医療的ケア児)支援センターの 設置と相談支援・人財育成の充実、事業所 増加の推進と通学支援の試行

6,100万円

24



挑戦4 脱炭素社会の実現 と自然との共生



脱炭素社会の実現に向けた取組の加速化

2,900万円

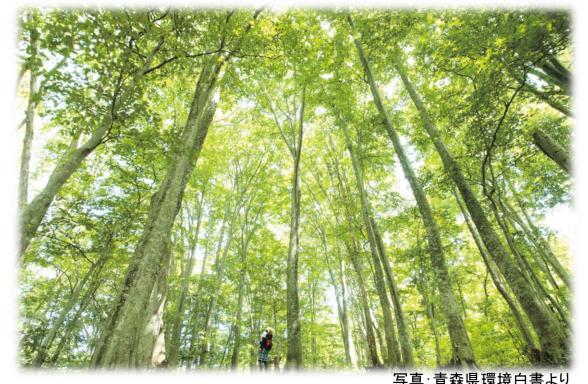
市町村・中小企業の脱炭素化に向けた支援

「あおもり地域脱炭素支援チーム」による市町村の取組 やニーズに応じた伴走型支援や、「あおもり脱炭素 コンソーシアム」による県内中小企業への支援を実施

2環境エネルギー分野の広報の充実

対話型広報の実施や、SNSを活用した業務関連情報の 発信

- 〇伴走型支援の実施により、県内市町村や中小企業における 地域脱炭素の取組が加速化する
- 〇積極的な広報の展開により、県民一人ひとりの環境に対する 意識・行動変容が促される







7,200万円

1 ツキノワグマの特定鳥獣保護管理計画の策定

県内の生息状況などを踏まえ、R7年内を目処に ツキノワグマの特定鳥獣保護管理計画の策定を目指す

2 ハンターの確保・育成

ハンターの講習受講料や猟銃取得費用を支援するほか、 捕獲のためのICT導入について市町村を集中的に支援

- 〇生息状況のモニタリングや環境整備、捕獲等に関する方針 を定めることで一貫した対策が可能になる
- 〇ハンターの確保により、県内各地で将来にわたって持続的な 捕獲が可能になる







環境 54事業 83.8億円

(主な事業)

~ 脱炭素社会の実現と自然との共生に挑戦~

再生可能エネルギーとの共生と 環境配慮型ビジネスの推進

- 〇自然・地域と再生可能エネルギーとの共生条例制度
 - 周知・普及啓発、市町村の合意形成支援

- 2,300万円
- 〇洋上風力発電関連産業の誘致・集積や水素・
 - アンモニア関連産業の拠点化などの推進(再掲)
- 7,900万円
- 〇フュージョンエネルギーの拠点形成に向けた関連 産業の誘致(再掲)
- 1,600万円

カーボンニュートラルに向けた脱炭素社会の実現

- ◎地域脱炭素の実現に向けた市町村向けセミナーの開催やアドバイザー派遣等による伴走支援
 - 1,100万円
- ◎企業の脱炭素の推進に向けたコンソーシアムの

800万円

- 設立と中小企業向けのスクールの開催
- 〇雪と寒さに強い青森型省エネ住宅の普及促進
- 1,300万円

豊かな自然環境の継承

- ◎デジタル技術を活用した大型野生獣捕獲技術 4,100万円 の実証と生息調査
- ◎ハンター確保のための魅力発信と育成及び 市町村への支援
- 〇白神山地におけるアウトドアブランドと 連携したアクティビティの充実強化や情報発信

3,000万円

環境エネルギー政策の県民への広報充実

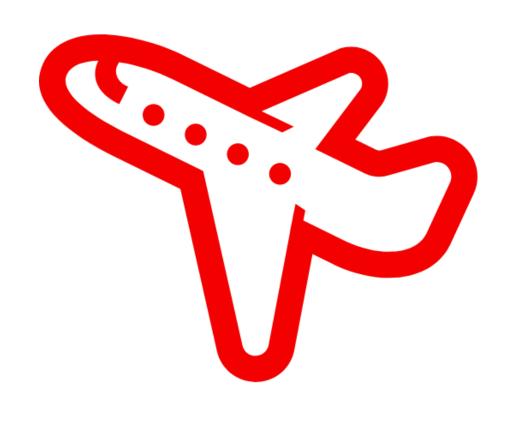
◎環境エネルギー情報に関する対話型広報・ SNSによる発信の充実

1,000万円

原子力施設の安全確保対策と原子力防災対策の充実

〇リサイクル燃料備蓄センターに係る むつオフサイトセンターの整備

1億4,100万円



交流

挑戦5

国内外とつながる交流・物流の拡大



地域モビリティ2.0の推進による地域内交流の維持・拡大

1億3,400万円

交通不便地域の解消

1 路線バス情報データの全県整備

県内のバス路線の経路検索データを県が一括で整備し、 活用促進に向けた市町村・事業者との協力体制を構築

2 アオモリモビリティシェアの更なる推進

交通が不便な地域・時間帯における移動手段の確保のための実証等を実施

3 地域公共交通事業者の人財確保支援

運転手の高齢化が進み、安定的運行が危ぶまれる地域公共交通事業者の人財確保に資する取組を支援



安定運行の確保

〇運転手等の確保により、県内公共交通の将来の安定的運行が図られる



国内外の交流の拡大の推進

6,000万円

1 AI観光コンシェルジュの実証等

多言語に対応し、24時間365日、生成AIにより 一人ひとりのニーズに応じた観光ルートを提案 できる高い水準のシステムを構築

2 冬季県民宿泊キャンペーン

青森県旅館ホテル組合が実施する県民向けの宿泊 キャンペーンの利用促進を図る

3 青函周遊観光の推進

北海道新幹線開業10周年を契機とした誘客につなげるため、青函周遊観光の魅力発信を行う

- 〇24時間多言語対応による最先端の観光案内を実現
- 〇本県の魅力発信による来訪促進・消費拡大

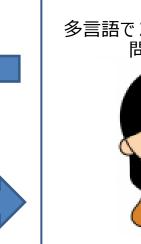
A I 観光コンシェルジュ (イメージ)



質問







多言語で24時間365日間合せ対応

おすすめの 観光ルートを提案



交流 66事業 103.6億円

~国内外とつながる交流・物流の拡大に挑戦~

(主な事業)

国内外とつながる観光の推進

◎生成AIを活用し個人のニーズに応じた旅行を24時間多言語で提案するシステムの開発

1,300万円

◎県民向け県内宿泊キャンペーンと割引や特典 による地元協賛店の周遊促進

1,700万円

◎JR東日本等とタイアップした冬季の青函周遊 キャンペーンの実施

3,000万円

〇台湾、韓国、中国、香港、豪州、タイ、 シンガポール、欧米からの誘客拡大

1億1,700万円

輸出・海外ビジネスの拡大と物流の確保

OA!Premiumの翌日到着輸送を生かした 国内外における利用拡大

3,600万円

〇商社、経済団体等と連携した欧米、台湾、香港、 ベトナムなどへの県産品輸出拡大

8,200万円

暮らしと交流を支える交通ネットワークづくり

◎地域モビリティ2. 0の推進

1億3,400万円

・路線バス情報のデータ全県整備と経路案内などの活用体制づくり

7,700万円

アオモリモビリティシェアやMaaSの実証等

2,700万円

・地域公共交通事業者の採用活動や職場環境 改善など人財確保の取組への支援

3,000万円

〇ローカル鉄道の機能維持と多言語情報発信、 教育旅行等での利用拡大

4,600万円

〇国内線の需要拡大や国際線の運航維持・拡大に

向けた支援

2億3, 200万円

〇蟹田・脇野沢航路の新船建造への支援

4億5, 200万円

国際交流の推進

〇大連市との経済交流20周年記念式典

200万円

32



挑戦6 県民総参加の地域づくり



完全国スポの幕開けとなる冬季大会開催等

28億6,300万円

1 青の煌めきあおもり国スポ冬季大会

- 〇スケート・アイスホッケー (八戸市・三沢市) 会期:令和8年1月31日~2月8日
- 〇スキー(大鰐町・鹿角市) 会期:令和8年2月14日~2月17日
- 2 国スポ本大会開催準備
 - 〇県民総参加に向けたさらなる気運醸成 開催1年前イベント、PRキャンペーンの実施
 - 〇会場地市町村への支援 競技会場の仮設、競技別リハーサル大会の運営等を支援
 - 〇県民総参加の大会を実現する



スケート・ショートトラック



スキー・ジャイアントスラローム



障がい者等の活躍推進

5億2,800万円

- 1 障スポ開催準備・選手等育成
 - 合同練習会、体験会、指導者向け講習会の実施
 - ・聴覚障がい者への情報支援を図るボランティアの養成
 - 特別支援学校等と連携した記念品等の製作
- 2 障がいのある人もない人も共に暮らしやすい 社会づくりの推進条例に向けた調査・検討
- 3 障がい者等の活動交流施設の整備

身体障がい者福祉センターねむのき会館体育館等の改築

- 〇 県民総参加に向けた更なる気運醸成を図る
- 〇 障がい者スポーツの普及、競技者の裾野拡大及び 育成・強化等を図る
 - ※2と3は政策テーマ「健康」







地域社会

~県民総参加の地域づくりに挑戦~

84事業 280.7億円

(主な事業)

元気な地域づくり・人づくり

○首都圏における移住・就職相談機能の集約・ 1,300万円 強化

○首都圏における本県ゆかりの店舗と連携 900万円 した移住情報の発信、交流機会の創出

〇ボールパーク整備に向けた基本計画の策定及び 民間活力可能性調査の実施

〇地域連携事務所における市町村や住民等 と連携した地域づくり

3,400万円

3,600万円

文化・スポーツの振興

◎国スポ開催準備と競技別リハーサル大会 及び冬季大会の開催

28億6,300万円

〇国スポに向けた競技力の強化

8億3,600万円

◎障スポに向けた開催準備と選手の育成強化

2億1,500万円

〇Jリーグクラブのキャンプの誘致

700万円

〇民俗芸能活性化大会の開催とドキュメンタリー 番組の作成

3,100万円

安心で快適な生活基盤づくり

〇県や市町村・民間企業等が保有するデータ の連携による防災分野やこども・子育て 分野などのサービスや政策への活用

4,700万円

〇県庁におけるペーパーレス化やオンライン

2億5, 100万円

会議、テレワーク等の環境整備

〇県獣医師職員の確保に向けた修学資金の

拡充及び職務環境の充実

7,200万円

36



社会資本

挑戦7 産業・災害に強く、 しなやかな県土の実現



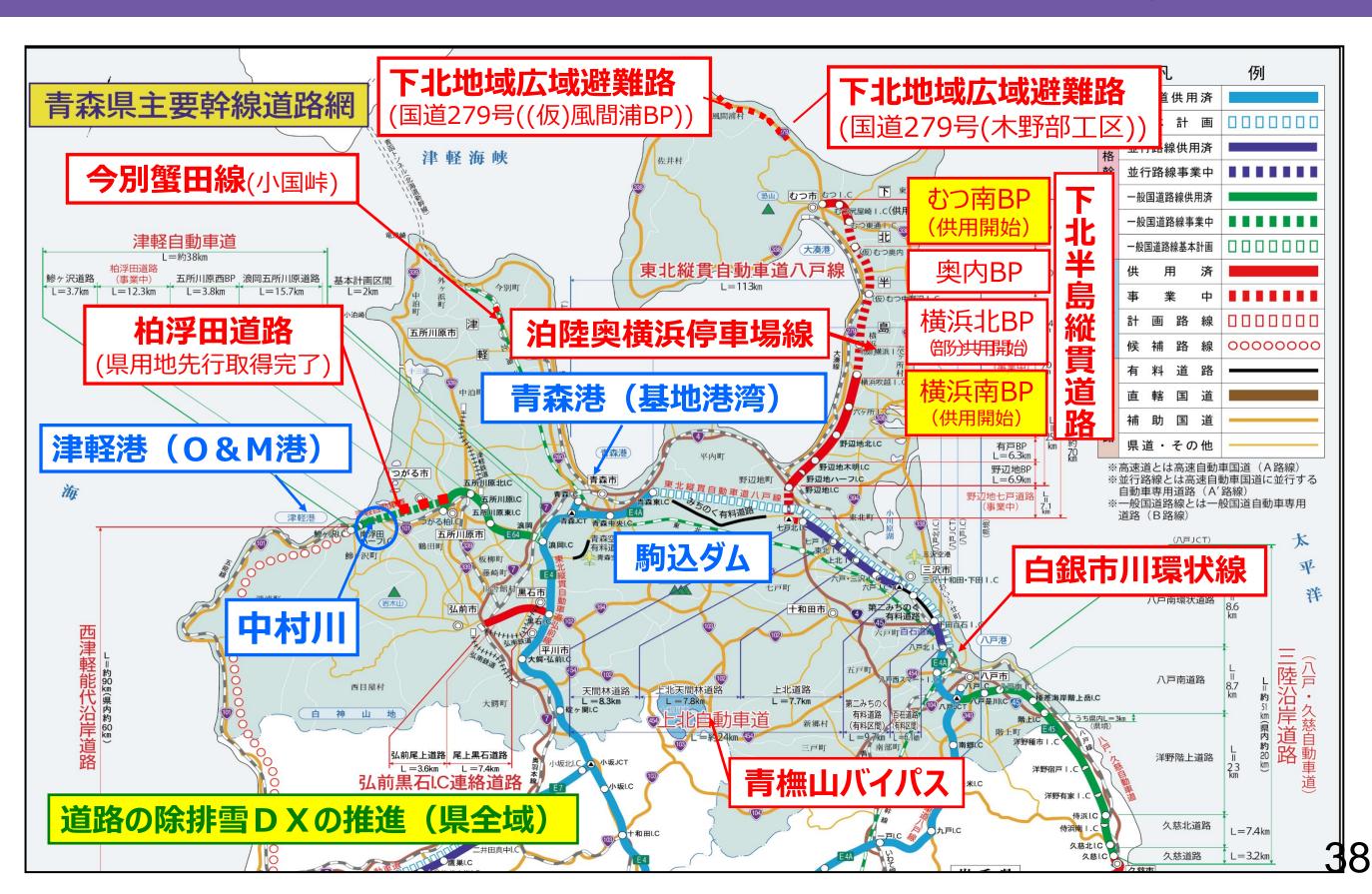
産業・災害に強く、しなやかな社会基盤の整備

543億6,900万円

1主要幹線道路や 洋上風力関連 港湾の整備

2防災・減災国土強靱化の推進

- 〇物流と経済を支える インフラ機能強化が 図られる
- 〇三方を海に囲まれた 県土における安全・ 安心の確保が図られる





災害にしなやかに対応できる環境の整備・充実

3億1,900万円

1 「青森県災害備蓄指針」の修正

要配慮者に配慮した備蓄品目の追加や保管場所の確保等粉・液体ミルク、使い捨てほ乳瓶、乳児用・大人用おむつ、段ボール(簡易)ベッド、パーティション等の追加と拠点保管の実施等



避難所における良好な生活環境の確保に必要な資機材等 を整備

トイレカー、水循環型手洗いスタンド、スポットクーラー、 自動ラッピングトイレ等



〇発災初期から良好な避難所環境を確保できる体制が構築される



社会資本

~産業・災害に強く、しなやかな 県土の実現に挑戦~

63事業 668.5億円

(主な事業)

産業・交流を支える社会基盤の整備

◎主要幹線道路ネットワークの整備(下北半島縦貫道路、津軽自動車道、青橅山バイパス、白銀市川環状線等)

69億8, 400万円

〇農林水産業の持続的な発展を支える 生産基盤整備 (再掲)

170億1, 100万円

◎物流の拠点となる港湾の整備(青森港油川ふ頭用地造成等)

25億6,500万円

安全・安心な県土づくりを推進する 社会基盤の整備

◎道路橋梁などの防災・減災、国土強靱化の推進

320億3, 300万円

◎河川整備等の流域治水対策、ダム整備の 推進(駒込ダム等)

127億4,500万円

◎排雪予定マップの全県拡大や雪山除雪の 効率化などの除排雪DXの推進

4,200万円

防災・減災の推進や危機管理機能の向上

〇防災基本条例の制定、「あおもり防災 チャレンジ」の実施

1,600万円

◎高齢者やこどもに配慮した災害備蓄物資の充実、トイレカーや自動ラッピングトイレなどの配備による避難所環境の充実

3億1,900万円

〇市町村の災害対応力向上・地域防災力 強化への支援

1,300万円

〇デジタルツールを活用した防災教育センターの 充実

1億1,400万円

40

7 令和6年度2月補正予算の概要

1 一般会計補正予算

379億1,369万9千円→ 2月補正後予算額 7,514億8,232万3千円

「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に係る国の補正予算に対応

- 2 歳出予算の主なもの
 - 国からの割当見込額に基づく公共事業関係費の増額 285億1,700万円 (ほかに債務負担行為設定額 27億6,600万円)
 - 国庫補助事業費や国の対策に呼応した県費単独事業費の増額 48億7,300万円 介護・障がい福祉事業所における賃上げ、職場環境改善への支援や 農林業関連施設整備・機械導入への支援、県立学校における I C T 環境整備など
 - 重点支援地方交付金を活用した物価高騰への対応 45億2,400万円 (ほかに令和7年度当初予算計上額 5億3,400万円)



物価高騰への対応

15事業 50.6億円

(主な事業)

一般企業向け

〇中小企業者等の L P ガス・特別高圧電気 価格高騰に対する支援

1億7,100万円

交通事業者向け

〇地域公共交通や安定的な物流の確保等に 向けたトラック・タクシー・航路における 燃料価格高騰等に対する支援

8億3,100万円

医療・福祉施設等向け

〇食材料費や燃料費高騰の影響を受ける医療 · 7億8,700万円 福祉施設等に対する支援

こども関連

〇保育・児童入所施設等における物価高騰に 対する支援

7,800万円

〇給食費無償化に係る食材価格高騰への支援

〇物価高騰下における私立高等学校授業料へ の支援(年収590万円未満程度の世帯) 3億8,900万円

6,400万円

農林水産事業者向け

〇配合飼料価格の高騰により経営環境が 悪化している畜産経営体への支援

19億円

〇子牛生産費の上昇と販売価格の低迷に 直面する繁殖農家への支援

5億円

〇燃油・飼料価格高騰や漁獲量減少の 影響を受ける漁業・養殖業者やナマコ 種苗生産、サケふ化場への支援

2億1,700万円

〇地域排水などの公益的な役割を担う 農業水利施設の電気料高騰への支援

4, 100万円

(参考) 見直し・廃止事業の状況

見直し・廃止した事業

計200事業 5,439百万円

■見直し等による廃止

51事業 302百万円

◆スクラップ&ビルド

52事業 835百万円

口事業終期到来等に伴う廃止 97事業 4,302百万円